

札私幼

就任のご挨拶

過日、行われました平成24年度第一回総会に於いて、一般社団法人への法人移行・任期改正に伴い、新役員を選任が承認可決いたしました。会長・両副会長・各委員長に就任のご挨拶をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

札幌市私立幼稚園連合会

会長 前田 元照



本年度より公益法人制度改革に伴い、新たに一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会へと名称が変更されました。その最初の総会にて、皆様方のご

承認を賜り、第十二代会長という大役をお受け致しました北区・百合が原幼稚園の前田元照（げんしやう）です。皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年度までは、二年間、副会長職務をさせていただき、主に、新たな補助制度であります特別支援教育（今年度は八五〇人）の拡充、そして今や全国ワースト2となりました札幌市の待機児童問題の解消（横浜市ではピーク時に一六〇〇人程いた待機児童が、今年度二〇〇人弱まで激減）に向け、私立幼稚園の空き教室を活用した受け入れ策について、市との交渉を粘り強く続けてまいりました。実現するためのハードルはまだまだ高いものがありますが、皆さま方のご指導を賜りながら、より良い制度となつてまいります様、引き続き努力を重ねてまいります。

さて、札幌市私立幼稚園連合会は、私の生まれる前から大先輩の設置者

第142号

平成24年9月14日発行

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会

前田 元照
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3580 FAX 671-3581

の先生、園長先生方が、大変なご苦労

の中で設立、六〇年余という長い歴史の中で、幾度となく様々な困難な問題に直面致しており、その度に英知を結集し解決を図り、今日まで歩んでまいりました。そして現在、これまでの私立幼稚園の根底をグラグラと揺るがす総合子ども園構想（3党合意で撤回したもの・・・）という大変な問題に直面し、大きな分岐点に差しかかり、全国の私立幼稚園が、今後どのような方向に進んでいくかは、誰も予測する事はできません。

これまでの私立幼稚園という現状にこだわり、多様化していくニーズの変化に対応出来なくなるのか？はたまたその変化に対応していくために、私立幼稚園が、今日まで築いてきた理念等、大切なものまで失ってしまうのか？幼児期の健やかな子ども達の成長を一番と考えて、時代と共に変わるべき事、変わっては決していけない事、変わらざるを得ない事がございます。

私の勤務する学校法人では、幼稚園の他、認可保育所や認定こども園を設置、運営致しております。しかしながら、私学の理念を貫き、各園魅力ある独自色を出した保育を行う事の出来るのが、保育所や公立の幼稚園ではなく、まさに私立幼稚園の醍醐味であると、常々感じております。

今年度より、札幌市内の私立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の所管窓口となりました札幌市こども未来局、特別支援教育や様々な研究・研修等で、引き続きお世話になります札幌市幼児教育センターとしっかりとスクラムを組み、北海道の他市町村をリードし、全国政令他都市の中でも、モデルとなるような振興制度策の実現を図っていく事、札幌市私立幼稚園連合会に加盟している幼稚園の先生達が多様な研究・研修を望んでいるのかを、しっかりとキャッチして充実を図っていく事、そして幼稚園教諭養成校と密に連携を図り、これからはますます大変になるであろう人材確保の問題に、しっかりと取り組んでまいります。



この度、札幌幼の副会長・総務委員長を前田会長より仰せつかりました。札幌ゆたか幼稚園の丸谷雄輔です。前期は札幌幼の研究研修体制を構築する研究推進部会の部会長を務めさせていただきました。団体の運営に携わった経験が少ない私のような身には、とても重責で身の引き締まる思いですが、お声を掛けて頂いたからには前田会長が考える札幌幼の3つの課題「他の政令指定都市以上の振興制度策の実現」「更なる教員研修の充実」「人材確保の問題」を在任期間中に少しでも解決していけるよう、微力ではございますが会員の皆様のために出来る限り精一杯務めていきたいと思ふ所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、札幌幼には副会長が2名おりますが、それぞれ役割を分担し、主に3つの委員会の担当副会長として各委員会運営に関与します。そのうち私が担当する委員会は「研究委員会」で

す。研究委員会における課題は山積しており、中でも教員研修の充実は子ども達の成長を育むためにも必要不可欠です。研究委員会は教委員長を始め優秀な委員の先生方で構成されておりますので、英知を合わせ、会員園の先生方のニーズに応え、意義のある研修体制を構築していきたいと思っております。また、これからの課題でもある「幼保小の連携」にも研究委員会が関与し、連携の橋渡しの存在になればとも考えます。

ところで現在、札幌市は子どもを取り巻く様々な問題に直面しており、その中でも「待機児童対策」は深刻な問題の一つでもあり、札幌幼としてもどのように向き合い解決策を打ち出せば良いのか、そもそもどのような政策が札幌の子ども達にとって最善の利益に繋がるのか。このような問題へ会員の皆様の目線に立って、行政との対応を迅速かつ丁寧に行っていきたいと思っております。そのためには総務委員の先生方と連携を密にとり、理事会を機能させ、区の園長会に適切な情報等を伝達できるように札幌幼の組織体系を構築していく必要があると考えます。

このような様々な課題や問題に、我々に与えられた1期2年の時間の

中で誠意を持って対応し、札幌の子ども達の未来のために、また、幼児教育の一層の充実を図るため、会員の皆様のお力をお借りしながら一歩ずつ前進していきたいと思っております。そして少しでも現場の先生方のお力になれたらと思いますので、各研修会へのご参加、ご協力等もどうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長

司馬 政一



この度、札幌幼副会長に就任いたしました清明幼稚園の司馬政一です。札幌幼研究委員長として2年が経ち、引き続き諸先輩方のもとで学ぶ日が当面必要と考えていた矢先、このような重責ある立場に就かせていただきましたことに、身が震えるほどのプレッシャーを感じております。また、札幌市には134園の私立幼稚園があり、私より経験も実績も積んでいらっしゃる先輩がたくさんいらっしゃるので、なぜ私が？ととても悩みましたが、出来る限りの努力はしてまいります。

と存じます。特に前田会長は、今後の幼児教育の振興について、札幌市全園のために厳しく、妥協を許さない思いで各関係方面へ積極的に出向く姿勢はとても力強く安心感があります。その会長を私なりに支えながら、様々な経験の上、学ばせていただきましたと考えております。

札幌幼は、会員の利益を最大限に確保し、私立幼稚園の振興にしっかりと寄り添っていくため、幼稚園を取り巻く様々な課題や子どもを育むを保証できる環境の大切さ等を、団体という大きな組織を活用して訴えていかなくはなりません。今までも諸先輩方のご努力の結果、教材教具補助や研修費補助のほか、殊に特別支援児への補助が大変拡充してまいりました。現在では預かり保育事業に対する補助や幼稚園実施の認可外保育所運営への補助等、新たな補助事業もスタートいたします。こういった流れは、札幌の全私立幼稚園の素晴らしい保育実践とその環境が、どの子にも恩恵として行き渡るよう必要なサポートであり、この先も永続的に運営していくための糧であります。

この先、地方ほどではないにしても少子化が進んでいくことで、各園とも運営が厳しくなっております。その

ために、待機児童数の解消のため保育所新設に多額の税金を投入するのではなく、幼稚園の有効活用もしっかり考えながら、札幌市全体の幼児教育のあり方（ビジョン）を私たち会員全体で踏まえていくことが大切でしょう。総合ことも園化が頓挫し、幼保の一元化どころか三元化になる方向で進められている中、ぶれない今後の方向性を会員の皆様と引き続きざっくばらんに話し合えることをお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

振興委員長

澤田 喜實



この度、振興委員長を仰せつかりました澤田喜實です。茨戸メリー幼稚園の園長として十年足らずの浅学の者ですが、先輩諸氏のご指導を賜りながら精一杯努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

これまで幼稚園振興策を推進する振興委員会は、保護者負担の軽減や幼児教育の推進、幼稚園経営についての情報収集や提言などを行い、また幼稚

園教育の環境整備のために札私幼連と連携を取りながら札幌市や道・国等にそれぞれの議会議員の方々とともに要望・折衝するなど重要な役割も果たしてきました。今後も取り組んで行きたいと考えます。

今国会に上程された「消費税増税を柱とする社会保障・税一体改革関連法案」が、3党合意により修正案が衆議院を通過しました。子育て関連3法案は、現行の認定こども園法を一部改正し、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付を創設し、市町村の確認を得た施設に財政支援がされることで盛り込まれています。今後については政局がらみもあり、参議院の議決も含め流動的でありますが、その行方と政策について情報収集を行いつつ私学として建学の精神に鑑み見守りつつ行って行きたいものです。

また、平成二十四年度振興委員会の事業計画として

- ①経営状況の実態調査
- ②園児募集と納付金問題の調査と研究
- ③教職員の待遇向上と労使問題の調査研究
- ④公私幼保の格差是正と適正配置に関する調査研究
- ⑤各種補助金および公的融資枠の獲得対策と調査
- ⑥委託業務の処理や事務処理の効率化、その他振興に関することなどが上

げられています。会員皆様のご意見やご要望をいただきながら、その責務を果たしていきたいと思えます。よろしくお願い申し上げます。

研究委員長

藪 淳一



このたび、会長のご指名もあって研究委員長を務めることになりました大通幼稚園の藪淳一です。私は、幼児教育の経験が4年にも満たず、園長でもないため、委員長就任の話をいただいた時には戸惑いました。本来、この役職は、保育実践の経験豊かな先生が務めるべきものだとも思っています。

しかし、一幼稚園の経営者として常に感じることは、幼稚園の宝は何よりも人的環境の保育者であるということだと思います。その保育者の資質を一層向上させていくことが、保育の質の維持・向上につながります。札幌の私立幼稚園全体の保育の質にかかわる役割であるならば、微力ではありますがご奉仕させていただきます。大役を引き受けることを決意いたしました。

この場を借りて、今年度の研究委員会の主な事業をお知らせします。教育研究大会は、10月19日、20日の2日間の日程で行われます。公開園の先生方には、ご協力いただくことが多くありますが、よろしく願っています。また、札私幼主催の研修会は、主任クラスの先生方を対象にしたスキルアップ講座を、引き続き開催します。昨年度は、ファシリテーターの研修を4回にわたり行い、好評を得ました。今年度の内容は委員会検討中ですが、あくまでも主任クラスの先生方にターゲットを絞り、園内研修や保育に生かせる実践的な研修を考えています。また、要望の多い特別支援教育研修会は、今年度も11月と12月に行う予定ですが、詳細が決まり次第お知らせします。

研究委員会では、「行動力」「研究力」「発信力」という3つの力を大切にしていこうとしました。行動力とは、今日的課題に敏感になって、必要とされる研修会をタイムリーに企画しスームズに運営するチーム力です。また、研修会の企画運営だけでなく、研究委員会として、日々の保育の積み重ねからなる臨床研究をしていく姿勢も忘れないでいきたいと思えます。さらに、研究委員会で決まったことや検討

していることは、研究委員会のニュースとして会員の皆様方に随時お知らせしていく発信力も大切にしていきます。2年間、ご協力とご支援、よろしくお願いいたします。

広報委員長

須合 國彦



三度目の正直

二度あることは三度ある。平成元年5月末から3年、平成8年5月から6年、しばらくぶりに三度目の広報委員長としてお手伝いすることになった須合と申します。

私が初めて広報委員長に就任したのは、今から二十四年前の前鼻時彦会長の時分で私が三十六才の時でした。札幌幼稚園の園児数も二二〇〇〇人を超えていたと記憶しております。その頃はまだ2年保育が主流で、定員充足率も現在より高い状態でした。札幌幼稚園に保わってから、4人の会長に仕え現在まで協力してきました。北海道の出生数が1/4以下に減少して少

子人口減少時代に突入し、連合会やその会員園にとっても大変厳しい時代が訪れました。会員同士の競争激化、保育園との園児争奪戦。そんな時代背景の中、益々、札幌幼稚園の責任が重くなってきたと考えております。

今年度は若干園児数が伸び連合会としても増収となる予定ですが、少子化の状況を考えると出生数の増加は望めないことは誰もが予測できるでしょう。そんな中で広報委員会としても、皆さまが拠出した貴重な会費を大切に使用して頂くため、札幌幼稚園をインターネットやメールを利用した配信方式に変更させて頂きたいと思っております。今までもどおり郵送等をお望みの園にはペーパーで送付させて頂きますのでご理解とご協力をお願い致します。

新広報委員会は、司馬政一広報担当副会長、塚本憲昌副委員長(あさひ)、鈴木真弓(美しが丘)、押野里美(東橋いちい)、太田真理(しろいし)、天保聖子(西岡ふたば)、そして私の7名体制で運営致します。コンパクトな委員会体制ですが、チームワークの良い小回りのきく委員会にしたいと考えております。

私は、次世代にバトンタッチをするための最後の仕事として引き受けま

した。広報委員会の素晴らしい新スタッフと共に頑張ります。

第1回通常総会

札幌市私立幼稚園連合会の平成24年度第一回通常総会が平成24年5月15日(火)にガーデンパレスで開催されました。



今期の総会は、法人移行・任期改正という大きな節目となり、議事内容もそれに伴った内容で行われました。

【議事内容】

- ・第1号議案 一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会定款変更の件
- ・第2号議案 平成23年度事業報告並びに決算承認の件
- ・第3号議案 第22号議案 理事選任の件

- ・第23号議案 第24号議案 監事選任の件
- ・第25号議案 役員を選任及び承認の件
- ・第26号議案 その他



権沢事務局長より定款変更の内容が説明され、皆様のご承認をいただきました。続いて各担当委員長から平成23年度事業報告・権沢事務局長より収支決算報告が述べられこちらも皆様の承認をいただきました。

役員改正に伴い、理事の選任が行われ、前執行部からの推薦を受けた新執行役員を選任と承認が行われ、皆様の承認をいただきました。

☆新執行役員のご紹介☆

会 長 前田 元照

副会長 兼 総務委員長 (研究担当)

丸谷 雄輔

副会長 (札P連・振興・広報担当)

司馬 政一

研究委員長 藪 淳一

振興委員長 澤田 喜實

広報委員長 須合 國彦

北私幼等担当理事 芝木 捷子

北私幼等担当理事 山田 肇

北私幼等担当理事 前鼻 英蔵

役員を選任を受け新執行部役員の皆様が壇上に上がり重要な職責を全うする覚悟を述べられました。



以上を以って全ての議事が承認され無事総会の閉会が述べられました。

総会終了後、五期十年の間会長職を全うされました芝木捷子先生に新会長に就任された前田元照先生より花束の贈呈が行われました。



第52回政令指定都市私立幼稚園団体協議会
新潟大会参加報告

第52回政令指定都市私立幼稚園団体協議会新潟大会が行われました。



札私幼からは、前田会長・丸谷副会長・司馬副会長・藪研究委員長・澤田振興委員長・須合広報委員長・芝木理事・前鼻理事・樺沢専務理事が出席いたしました。

1日目日程7月5日(木)
 大会長である新潟市私立幼稚園連合会会長 丸山 和幸 氏、政令市私立幼稚園団体協議会運営委員長 金子 禎 氏の挨拶に始まり、表彰状贈呈、行政報告、基調講演が行われました。

表彰状贈呈では、札私幼より前会長の芝木捷子先生と須合国彦先生が表彰されました。基調講演では、「自然の中で遊んだ子どもは、自然を大切にすべくたくましい大人になる！」を演題に篠笛奏者の狩野泰一氏が講演されました。



2日目日程7月6日(金)
 ①行政・振興(幼稚園ということ) ②経営(行政とのかかわり) ③研究(学校評価と園内研修の取組) ④PTA(子どもはあなたの宝!日本の宝!「愛される子」に育てよう!) ⑤事務局(各団体事務局の情報交換)と5つの分科会が行われました。

園紹介アラカルト

美しが丘幼稚園

主任教諭 知升 美由樹



美しが丘幼稚園は平成6年、閑静な住宅街の中、林を背に建てられた自然環境豊かな幼稚園です。

教育のモットーである、「明るい顔・元気な声・大きな心」を柱に

いつもたくさんの笑顔や元気な挨拶、笑い声が溢れる幼稚園として、幼児期の大切な「心」をしつかりと育てていきたいとの思いで日々保育に励んでいます。

美しが丘幼稚園

“心を育てる”ということは今すぐ目に見える結果を示すことや知識の詰め込みではなく、周りの大人が子どもたちをしつかりと見つけ、受け入れていくことでその子が「自分が好き、認めてもらえてる」と自己肯定感を持つて

ような関わりをしていきながら、その様々な活動の中の過程を大切にしていくなかで考え、子ども自ら「取り組みたい！」と思えるような導入や活動を提供し、チャレンジしたり迷ったりすることで仲間と助け合い、共に喜びや悲しみを分かち合いながら、達成感を得て自信につながっていく、そんな手助けをすることだと考えています。様々な教育活動の中のひとつとして現在力を入れて取り組んでいるのが次の三点です。

☆わくわく絵本タイム

・絵本の表紙6種類を事前に廊下に掲示

↓自分で選択し当日移動してその絵本に親しむ

(考える力や想像力を広げます)

☆食育活動

・農園にて様々な野菜を植え・育て・収穫

↓子どもたちが店頭販売してその売り上げの一部で全園児が

お買ひもの

↓収穫祭などでクッキング

・「食育ヒーローぬかづけマン」との活動

との活動

(五感をフルに使って自然や社会性を学び、経験します)

☆なかよし交流

・各クラス・学年の子どもたちが

6つのグループに分かれ縦割り活動を行う交流の時間

(模範意識や責任感を持ち優しさや思いやりが芽生えるとともに憧れや期待も高まります)



これらを含め様々な経験・体験が“生きるための力”となって未来につながっていくものと信じ、間もなく開園二十年目を迎える今、教職員一同、日々学ぶ気持ちを忘れずにひとりひとりと向き合い歩んでいきたいと思っています。

東橋いちい幼稚園

園長 押野 里 美



東橋いちい幼稚園は、今年の4月から「東橋いちい認定こども園」として新たにスタートいたしました。0〜2歳児までを保育園児として、3〜5歳児は幼稚園児としてお子さんをお預

かりする幼保連携型の一貫型というタイプの認定こども園です。現在は、7クラス130名という園児数で、ゆったりアットホームな雰囲気の中、園生活が進んでいます。

建学の精神「自然から学ぶ」

自然とは：とても身近なものですが、意識しないと見えてこないものでもあります。自然は私達に大きな喜びや感動を与えてくれる素晴らしいと、人間の力ではどうにもならない厳しさや偉大さの両面を持つもの。そんな自然の中に子ども達自身が身をおき自ら様々な体験をすることで、感じる心や考える力逞しい体を育みます。そして、もう一つの自然は、子どものありのままの自然な姿を大切にすること。それぞれの子どもが自分らしく自然な姿で園生活を送ることで、伸び伸び生き生きと過ごすことができると思っています。

みんな大好きセカンドスクール「いちいの村」

豊かな自然の中で存分に遊べる施設として、本園のセカンドスクール「いちいの村」があります。約2000坪の敷地には、思いきり駆け回れる広々とした芝生や木登りができる大きな栗の木、職員手作りの木製遊具、いも畑などがあり、年長組のお泊り会もこ

こで行います。美味しい空気と優しい緑に包まれて自然を満喫。もちろん、子ども達の大のお気に入り場所でもあることは言うまでもありません。

緑いっぱい！自慢の園庭

そして、いちいの村だけではなく毎日遊ぶ園庭にも、緑がいっぱい。今年の春に全面芝生にし、新たな樹も植えりリニューアルしました。気持ちの良い芝生で、寝転んだり全身を使って鬼ごっこをしたり、夏の強い日差しを遮ってくれる涼しい木陰でそのままごとをしたり、様々な花が咲く木々を眺め美しさを友達と共感しあったり：四季の変化を体全部で感じながら、子ども達の様々な感性や体力を育んでいます。



保育園の友達との関わり

同じ建物にある保育園の友達との関わりも幼稚園の子ども達にとっても大きな影響を与えてきています。0歳児の赤ちゃんから、よちよち歩きの1歳児など、今までの園生活では体験できなかった乳幼児との関わりが子ども達の心をさらに豊かにしてくれました。自然にしゃがみこんで目線を合わせ大事な宝物にでも触れるかのように、丁寧に思いやりを持って接する幼稚園の子ども達。そんな何気ない日々の関わりから、子ども達の優しく他者を敬う気持ちが育まれているのです。

どんな遊びや活動にも目をキラキラと輝かせて、意欲的に飛び込んでいく子ども達は、東橋いちい幼稚園の自慢です。それは、子どもの成長段階をしっかり受け留め、自分らしく伸び伸びと過ごせるような様々な「環境」を用意しているからなのだと思います。特別な遊具や活動が用意されているということではなく、子どもの遊びや生活が十分に保障されているということだと思います。そのために、子どもにとって大きな環境である教師は、日々努力を怠らず懸命に子どもの視点に立った保育を行うために、邁進しています。



連合会日誌 (抜粋)

- 4月1日(日)「一般社団法人」札幌市私立幼稚園連合会に移行
- 4月3日(火)札幌市子ども未来局と、「私立幼稚園預り保育運営支援事業」及び「幼稚園保育室運営支援事業」(以下「新補助制度」という。)の折衝
- 4月13日(金)定期監査
- 4月16日(月)第一回総務委員会・第一回理事会
- 5月11日(金)札幌市子ども未来局と、新補助制度の折衝
- 5月15日(火)第二回総務委員会・第二回理事会(新旧理事)・札幌幼通

常総会・振興会総会・第三回理事会

5月21日(月) 札幌市子ども未来局

と新補助制度の折衝

5月24日(木) 札幌市子ども未来局

と新補助制度の折衝

5月28日(月) 三上札幌市議会議長

との懇談会(市役所市議会議長室)

5月30日(水) 札幌市子ども未来局

と新補助制度の折衝

5月31日(木) 札幌市子ども未来局

と新補助制度の折衝

6月5日(火) 第三回総務委員会

6月18日(月) 札幌市子ども未来局

と新補助制度の折衝

6月20日(水) 第四回理事会

6月25日(月) 幼児教育推進協議会

(市教委)・札幌市子ども未来局と新

補助制度の折衝

6月26日(火) 上田市長との懇談会



6月28日(月) 新補助制度等説明会
(市役所本庁舎)

7月3日(火) P連ふれあい交流会

7月5日(木) 6日(金) 政令指定

都市私立幼稚園団体協議会新潟大会

7月10日(火) 幼児教育講演会(ち

えりあホール)

7月25日(火) 29日(日) 幼稚

園パネル展(札幌駅前地下歩行空間)

7月27日(金) 第五回総務委員会

7月30日(月) 8月1日(水) 新

規採用教員宿泊研修(山の家)



8月25日(土) にこにこフェスティ

バル(厚別区体育館)

8月28日(火) 第六回総務委員会・

第五回理事会

広報委員の紹介

副委員長 塚本 憲昌

白石区 あさひ幼稚園

委員 鈴木 眞弓

清田区 美しが丘幼稚園

委員 押野 里美

白石区 東橋いちい幼稚園

委員 太田 真理

白石区 しろいし幼稚園

委員 天保 聖子

豊平区 西岡ふたば幼稚園



しばらくぶりに広報委員長に復帰しました。委員会の構成人員は少ないのですが、広報委員としてそれぞれが意欲的に取り組んでいます。

6月21日に第一回目の広報委員会を開きました。担当副会長を含むその会議で経費削減の為、今後の広報誌発行を紙ベースから電子化へ移行していきけるようすすめていくことになり、突然ではございますが、今回の発行より各園3部で郵送させていただきます。同封いたしますが案内にも書いてありますが、今後は札幌幼稚園ホームページからインターネットを活用しダウンロードし、閲覧頂く方法を基本とさせていただきます。郵送をご希望で部数も追加してほしいという園は、お手数ですがファックス等でご連絡いただき、ご対応させていただくこととなりました。ご不便をおかけしている園もあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

広報委員長 須合 國彦